

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年6月22日(2017.6.22)

【公表番号】特表2016-520068(P2016-520068A)

【公表日】平成28年7月11日(2016.7.11)

【年通号数】公開・登録公報2016-041

【出願番号】特願2016-513108(P2016-513108)

【国際特許分類】

A 6 1 K	35/545	(2015.01)
A 6 1 L	27/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2017.01)
A 6 1 K	35/36	(2015.01)
A 6 1 K	35/30	(2015.01)
A 6 1 K	47/34	(2017.01)
A 6 1 K	47/36	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 12 N	5/0775	(2010.01)
C 12 N	5/074	(2010.01)

【F I】

A 6 1 K	35/545	
A 6 1 L	27/00	V
A 6 1 K	47/42	
A 6 1 K	35/36	
A 6 1 K	35/30	
A 6 1 K	47/34	
A 6 1 K	47/36	
A 6 1 K	9/06	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	43/00	1 0 5
C 12 N	5/0775	
C 12 N	5/074	

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月9日(2017.5.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

幹細胞の集団と共に移植されたコラーゲングリコサミノグリカンスカフォールドからなる
、創傷治癒スカフォールドであって、前記幹細胞の集団が、

a) 幹細胞の集団の少なくとも80%がABCB5+幹細胞である、

- b) 組成物の細胞の 5 0 % 未満が ABCB5 (-) 細胞である、
- c) 集団が、 5 % 未満のケラチノサイトおよび / または上皮細胞を含む、
- d) 幹細胞が、 ABCB5 + 真皮間葉系幹細胞である、
- e) 幹細胞の集団の少なくとも 8 5 % が、 ABCB5 + 幹細胞である、
- f) 幹細胞の集団の少なくとも 9 0 % が、 ABCB5 + 幹細胞である、 または
- g) 幹細胞の集団が ABCB5 + 眼幹細胞であって、 前記細胞集団が、 非眼細胞を含まない、
ことを特徴とする、

前記スカフォールド。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の創傷治癒スカフォールドであって、 ABCB5 + 幹細胞が、 対象の組織から単離され、 ABCB5 + 幹細胞が前記対象における他の細胞から ABCB5 に対して特異的な抗体を用いて分離されたものである、 前記創傷治癒スカフォールド。

【請求項 3】

スカフォールドが、 架橋されたコラーゲンおよびグリコサミノグリカンの多孔質マトリックスであり、 且つコラーゲンがウシ腱コラーゲンである、 請求項 1 または 2 に記載のスカフォールド。

【請求項 4】

スカフォールドが、 任意にポリシロキサン (シリコーン) である半透性層を含む、 請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のスカフォールド。

【請求項 5】

スカフォールドがメッシュスカフォールドである、 請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のスカフォールド。

【請求項 6】

スカフォールドが、 約 1 0 ~ 5 0 0 マイクロメートル、 5 0 ~ 3 5 0 マイクロメートルまたは 7 0 ~ 2 0 0 マイクロメートル の孔サイズを有する、 請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のスカフォールド。

【請求項 7】

創傷治癒を増強するために有効な少なくとも 1 の生理活性分子をさらに含む、 請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のスカフォールド。

【請求項 8】

治癒を促進するために、 創傷を、 請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の創傷治癒スカフォールド と接触させることを含む、 創傷治癒を促進するための方法。

【請求項 9】

創傷が熱傷または糖尿病性潰瘍である、 請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

スカフォールドと共に陰圧創傷治療を用いることをさらに含む、 請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

生物学的組織スカフォールドに ABCB5 + 幹細胞を播種すること、 および組織が形成されるような条件下においてスカフォールドを維持することを含む、 組織工学の方法。

【請求項 12】

生物学的組織スカフォールドが、 同種移植片または自家移植片、 異種組織あるいは脱細胞組織 である、 請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

創傷治癒を促進する用途のための創傷治癒スカフォールドであって、 創傷を創傷治癒スカフォールドと接触させ、 スカフォールドが ABCB5 + 幹細胞の集団と共に移植されたスカフォールド を含み、 且つ ABCB5 + 幹細胞が眼から単離される、 前記創傷治癒スカフォールド。

【請求項 14】

創傷が眼の創傷である、 請求項 13 に記載の用途のための創傷治癒スカフォールド。

【請求項 15】

細胞の集団が非眼細胞ではない、請求項 13 に記載の用途のための創傷治癒スカフォーレド。